

第4回青梅市協働事業市民推進委員会会議録概要

令和8年2月5日

403会議室

午後2時～

1 あいさつ

委員長

2 報告事項

(1) 令和7年度協働評価の実施について (資料1)

事務局から例年より早めに各課に依頼する旨説明

(委員) 早めに実施するというのは、どのような理由からか。

(事務局) 年度が変わり、担当者が異動してしまったり、事業終了後に時間が経過してから評価シートのやり取りのみになりがちであるので、振り返りを意識しながら年度末に向かっていただきたいと考えたものです。

(委員) 団体側が評価をしたものを市に提出し、市側があとから評価をして団体側が市側の評価を知らない実態もあるかと思う。市側が書いた内容も、団体側もわかるようになっていくと、より意見のすれ違いも減らせると思う。

(委員) 団体側、市側が評価を持ち寄ってひとつの結果として、課題を共有して評価の点をつけることがあってもよいのではと思う。

(委員) 報告の際に、参加人数やスタッフの人数などが分かると評価もしやすいと思う。

(委員長) スタッフ人数の件は、お互いの役割が事業の効果を高める協働の意味が見えてくることがあると思う。

3 その他

事務局から令和7年度市民提案協働事業の進捗状況について報告

① 青梅ガイド-デジタル&マップ作成

3月の完成を目指し原稿の作成作業中。

② 災害時のペット同行避難における対応について

2月1日13時半からの市役所会議室において開催され、参加者10

0名（スタッフ、講師含め109名）

③多摩川ハザードマップ作成&ハザードレクチャー動画制作

動画撮影はすべて完了、編集中で、2月末までに完成を目指している状況。

④青梅の森の恵みとITがつなぐ心と体の健康ミライ

令和8年1月24日土曜日に、午前4名、午後9名の14名で実施。

⑤和楽倶楽部流笑ってつながる地域の輪

令和8年11月22日（土）に、参加者26人（スタッフ含め51人）で実施。

（委員長）ペットの同行避難については、盛況であったとのこと、たくさんの市民に知らせられたら良いと思う。

（委員）市民側の視点のペットの同行避難であると思うが、防災側の視点のものもあると思う。八王子市の防災訓練では、ペットの避難についてやっている。今回の取組が今後の展開につながっていくか。

（委員）新町地区で行った総合防災訓練では、ペットをつれてきてくださいというのを実施した。

（市民安全部長）今回の講演会の講師は、災害の現場に行かれた方で、実際現場で見たものに対して感想、失敗も含め説明いただいた。来年度の総合防災訓練は、第6支会で実施します。ペットの同行避難についても担当課が検討していく予定です。

（委員長）避難訓練では、災害が発生し避難する事態が起きたときに、地域の中でどのように避難していけるかということを総合的に考えることが必要であると思う。

3 協議事項

(1) 市民提案協働事業の見直し案について

（資料2）

事務局から説明：第3回委員会の委員意見および、12月に開催した庁内市民協働事業推進会議の意見を受けて、今後の協働提案制度、市の協働事業について事務局案を提示。

（委員）複数年度事業実施可能とのことであるが、予算措置の考え方を見ると、2年継続実施が基本のように見えるが、1年、2年どちらでもいいということではないのか。

（事務局）協働実践型は、2年間の事業実施を基本とすることを想定して

います。予算措置の考え方は、あくまでも想定であり確約するものではありません。

(委員) うめコースは、1年間に2件しか採択しないとすると、今よりも間口が狭くなるのでは。また、2件であると、大きな団体が占めてしまう、ゆめコースの方は、名前を変えた団体が応募し、中身は同じ人であるといった状況が令和10年、11年くらいに現れてくる懸念があるが、大枠ではいい制度であると思う。

(委員) 大きなところはすごくいいと思う。本当は今回1年で急いで完成させて完結してるが、2年をかけていいのを作りたいという場合もあるのか。

(事務局) 内容、事業計画で発展性があれば、1年で完成しなくても、2年かけて完成でも可能です。

(委員) 私が受けている別の助成金は3年間のものだが、毎年新規のものと同じ審査を受け通過しないとならない。申請の際は、継続を狙うかと聞かれる項目がある。4件分を令和9年度予算から確保し、募集件数を増やす検討もできるのでは。

(委員長) この年間スケジュールでは事務局が大変で、審査は雑駁になるのではないかと。また、市として協働事業を重要と考えて予算を多く確保していくことはできないのか。

(事務局) 提案制度は、今ではこの市民提案制度だけではなく、シティプロモーション課の移住政策など、各担当課で募集しているものもあるなど普及しつつあります。時代が進み、協創の枠組みで、公民連携などと一緒に協創推進の部署が創設、重点事項となれば予算額も確保していけると思います。

(市民安全部長) 市の補助金は、原則として3年に一度見直しをしないとなりません。今回、4ヶ年のスパンでお出ししていますが、これを確約するものではなく、あくまでもスキームでありもう少し柔軟性も必要となれば、また要綱を改正していくこととなります。この委員会のご意見を踏まえ、複数年度実施を考えたスキームですので、ご理解いただきたいと思います。

(委員長) 募集のスケジュールは事務的に大丈夫か。ゆめコース、うめコースと一緒に審査できないのか。ゆめコースの審査は、行政サイドで審査をし、この委員会では、ゆめコース選定について何も意見を述べられ

ないのか。

(事務局) ゆめコースの審査は、基本的に庁内の会議での書類審査を考慮しており、審査委員会での審査は、複数年度の審査をしていただきます。

庁内会議の審査の前に、この委員会の第1回の日程を調整し、そこで挙げていただいた意見を会議へ上げることは可能です。

(委員長) うめコースの件数と予算については、応募状況等により流動的にしてもよいのではないかと。

(事務局) 9年度の予算は、これで確定ではなく、来年度の募集をかけた状況で、またいろいろ加味しながら、予算は、毎年決めるようになります。また、基本的には、うめコースは2年間の事業と考えています。

(委員) 社会福祉協議会のボランティア団体への助成金は？

(委員) 10万円と5万円がある。コンスタントに活動する、規約があるなど条件はあるが、ボランティア・市民活動センター登録団体でなくてもよい。事業費のほか備品も対象となる。

(委員) ゆめコースへの応募を広くPRする必要があると思う。

(事務局) 令和8年4月1日改正施行と考えていますが、事前の周知は改正が確定してからでないといけないこともあり、スケジュールはズレる可能性がありますので、御了承いただきたい。

(委員長) 決定した時点で、早めに周知していただきたい。

(2) その他

なし

4 その他

(1) その他

(委員) 情報提供。2月16日午後2時から「災害ボランティア養成講座」を開催する。

(事務局) 今年度の委員会は終了です。令和8年度第1回会議は、ゆめコースの審査との日程を見て調整させていただきます。

以上